

## 第7回須賀小学校地域拠点施設検討委員会会議録

### 1 開催日時

令和6年2月15日（木）午後7時00分～午後9時00分

### 2 開催場所

進修館 研修室

### 3 出席者（委員）

佐々木誠委員長、石井大晴委員、上田悟委員、金野泰久委員、星野花恵委員、乙幡弘子委員、諸星香代子委員、穴戸ゆみ委員、小坂周平委員

（町：関係課長）町民生活課長 吉永吉正

（事務局：教育推進課）教育推進課長 田中啓之

（事務局：宮代町立須賀小学校の再整備等地域拠点施設整備プロジェクトチーム）

小川雅也（教育推進課教育総務担当）リーダー、

関根雅治（町民生活課地域振興担当）サブリーダー、

吉田直子（子育て支援課こども保育担当）、高林優子（町民生活課危機管理担当）、

川崎章人（教育推進課生涯学習・スポーツ振興担当）、

高橋道彰（教育推進課教育総務担当）、須原大輔（教育推進課教育総務担当）、

山下夏鈴（産業観光課商工観光担当）

（須賀小学校地域拠点施設基本計画策定業務受託業者）

株式会社東畑建築事務所 久保・門脇、Life Work 内海

### 4 欠席者（委員）川野達則副委員長、近藤隆委員、中村隆委員、谷義明委員、 唐松奈津子委員

### 5 次第

1 開会

2 視察の報告について

3 前回検討委員会及び自治体経営会議の意見について

4 基本計画素案について

5 その他

6 閉会

## 6 議事（要旨）

### 1. 開会

佐々木委員長より挨拶

### 2. 視察の報告について

町 PT：視察（あやセンターぐるぐる、足立区立綾瀬小学校図書館、流山市立おおたかの森小中学校）の視察報告。

<あやセンターぐるぐるの感想>

宍戸委員：室内の仕上げが未完成になっているところがつっこみたくなり面白い。  
地域の人のかかわり代を残してくれている工夫が、自分事として考えられるような施設だと思った。

乙幡委員：入った時の第一印象は狭いと思った。だが、狭いスペースの中でも子どもの遊ぶスペースがあったり充実していると感じた。  
宮代町にもありそうな雰囲気を感じた。公共施設というより、お店のような親近感を感じた。

諸星委員：“みんなのやりたいを実現”というテーマがよい。施設の照明や家具など、随所の工夫がおしゃれで素敵だと思った。  
窓際のベンチがガラス1枚で内と外が繋がっているところも良いと思った。

佐々木委員長：ガラス張りで中が見えるのはよい。インテリアの設計は北千住で設計事務所を営む若い方だそう。

町 PT：ふらりと入ったり座ったりできる雰囲気が今回の事業の参考になると思った。  
また、足立区の職員の方が街に出向いて一生懸命キーパーソンを探したという話が印象的だった。

LW 内海：あやセンターの仕組みは素晴らしいと思ったが、地域の人とコミュニティビルダーの境界がはっきりしているようにも思った。  
もし中間の立ち位置の方がいるのであればお話を伺ってみたいと思った。

佐々木委員長：空間というよりは人が中心となっている施設だというのがよいと思う。

地域の人がやりたいことをサポートしてくれたり背中を押してくれたりする、人中心の施設であるというのが重要なポイントだと思う。地域を巻き込んでいくという点でも参考になると思う。

#### <足立区立綾瀬小学校 図書室（地域開放）の感想>

金野委員：可動式の本棚はスペースを有効に活用しやすいと思った。また卒業生や地域の方が寄贈した本があったが、どのように貸出しているのか気になった。

上田委員：多機能な多目的室がよいと思った。人工芝の校庭は管理が大変だが、使いやすそうでよいと思った。

教育推進課長：綾瀬小学校の図書室は学校開放の日時や対象が限定されてはいるが、地域へ開放している事例として参考になった。

須賀小学校地域拠点施設では、日時や対象を限定しないで、誰でも気軽に集まれる場所として図書室も共有できれば素敵な場所になりそうだった。

LW 内海：立地の関係上、仕方ないと思うが、もう少し緩やかに周辺地域とつながれるとよさそうだった。

#### <流山市立おおたかの森小中学校の感想>

金野委員：児童・生徒の昇降口へ向かって階段を登っていく演出が印象的だった。

体育館の木ルーバーの間仕切りは風通しがよく、開放的で勉強になった。また廊下と体育館のステージが同じ高さであったり、スロープがあったりとバリアフリーへの配慮もよいと思った。

また、ユニバーサルデザインの点では、階段の色分けもよいと思った。須賀小学校であれば、低・中・高学年で色を分ける場所があってもよさそうだった。

諸星委員：教室と教室の間にあるオープンスペースに、本来教室内にあった荷物が置かれていたため、児童数の増減に対応しやすいような、余裕をもった設計をすることは大事だった。

クラスによって教室内が自由にレイアウトできたり、教室から景色が見えることもよいと思った。

佐々木委員長：小中学校に併設された地域施設は、ガラス張りで中の様子がよく見えたが、隣同士にあるものの一体感はあまりないように感じた。

東畑建築事務所：地域施設が小中学校に隣接しているだけで、子どもと大人が交流しにくい状況はもったいないと思った。

従来の教室は南面採光でつくることが多かったが、おおたかの森小中学校は主要採光面が東西南北のいろんな方を向いていて教室の作り方の自由度が高いと思った。見やすい位置にホワイトボードを移動できることも、多様な授業形態に対応しやすい工夫だと思った。

LW 内海：おおたかの森小学校の校長先生が話された、おおたかの森小中学校に赴任したばかりの先生は広い校舎で迷うことがあるが、位置関係を理解している子どもたちが案内してくれるという話が印象に残っている。

施設をいつも使っている人には部屋の位置関係や動線はわかることであるため、管理側と利用者側のセキュリティの問題に対して、理解度の線引きをどこに設定するか参考になると思った。

### 3. 前回検討委員会及び自治体経営会議の意見について

町 P T：意見の概要を説明。

### 4. 基本計画素案について

東畑建築事務所：基本計画の素案について説明。

佐々木委員長：p.25 の第 2 期公共施設マネジメント計画の肝はエリア全体の活性化である。現在のままでは第 1 期の内容のようにみえるため、修正した方がいいと思う。

東畑建築事務所：エリア全体の活性化が示されている図の追加や今回の事業に対する影響など補足して修正します。

上田委員：p.36, 37 の内容について再度説明を聞きたい。

東畑建築事務所：建物の階数や敷地内での配置を変えながら、利用者の動線や、仮設校舎の有無、教室内の環境など 12 個の評価項目別に検討を行った表です。

佐々木委員長：12 個の評価項目以外に、周辺との関係や駐車場、駅、循環バスなどの観点も考慮すると良さそうだった。

小坂委員：駐車場の大きさなども比較項目に入れてはどうか。

東畑建築事務所：配置計画の比較表では大きさまで比較することは難しいため、大きさは継続的な検討課題としていきます。

町 P T：駐車台数は全体で 50 台程度を想定しています。敷地内で 20 台程度、体育館跡地で 30 台程度を検討しています。

佐々木委員長：p.49 の留意事項で駐車台数のことは触れられているが、本日話し合ったような駐車台数の割り振りなど、検討段階であっても補足して書いておくこと今後のためによいと思う。

宍戸委員：校内のプール廃止に伴い、ぐるるのプールを利用するようになるが、バスの乗降場所や着替えなどはどうなるのか。

町 P T：バスの乗降場所は今後検討していくが、着替えはぐるるの施設内で行うことになる予定です。  
屋内プールになるので、夏に限らず学年で分散して授業を行うことも可能になると思います。

上田委員：p.40 の整備スケジュールは分かりやすいのでよいが、もう少し詳しくなるとよりよくなると思う。

佐々木委員長：工事期間中の学校の運用について書く方がいいのかどうか。

東畑建築事務所：基本計画段階ではまだ検討中のことが多いため、工事中の学校の運用についてまでは書かないことが多いですが、一般的な内容として工事中の対策について簡単に記載したいと思います。

佐々木委員長・上田委員：保護者に対して工事中の情報共有のあり方についても記載されるとよいと思う。

小坂委員：PTA 室は新しい施設にも設けてもらえるのか。

東畑建築事務所：PTA 室は設ける予定ですが、専用室とするか兼用室とするかは今後検討していきます。

小坂委員：体育館のイメージはどのようなものか。

東畑建築事務所：当初は体育館を既存利用する予定でしたので、途中から体育館の新設という話題が挙がり、検討委員会では深く話し合いができていなかったと思います。具体的な整備方針については現段階では十分に検討できていないため想定するコートの大きさなど記載できるものは補足しようと思います。

金野委員：保護者が参集する交通手段として自転車が多い。駐輪場の場所が気になった。また、年に数回観光バスが来ることがあるため、できればバスの待機場所や、児童の待機場所があるとよい。

佐々木委員長：どんな機能があるかという書き方で、現段階で想定していることも記載できるとよいと思う。

上田委員：校庭は整地されるのか。

東畑建築事務所：工事中で乱れるところは整地すると思うが、どこまで行えるかは予算の都合になると思います。

宍戸委員：百間小学校は校庭に車が乗入れることがあるが、須賀小学校でも状況や時間によって校庭に車が乗入れられて止められるといいと思う。

金野委員：p.48 の仮設校舎の有無の方向性はいつ頃決まるのか。学校行事のスケジュールや教育課程のスケジュールの検討のためにも早い段階で今後の予定を知らせてもらえると助かる。

佐々木委員長：p.40 と p.48 の今後のスケジュールの記載内容が似ているので、どちらかにした方がいいと思う。

小坂委員：資金調達のためのクラウドファンディングや募金は可能なのか。

東畑建築事務所：可能だと思うが、実施するかは検討が必要だと思う。

## 5. その他

町 PT：今回をもって2年間の検討委員会は終了となります。ご協力に感謝申し上げます。

## 6. 閉会